

61

NAGAI LEBEN

第61期報告書

平成21年9月1日から平成22年8月31日まで

 ナガイレーベン株式会社



ごあいさつ



代表取締役社長
澤登 一郎

今期も前期以来の先行き不透明な経済環境は、変わらず継続しております。そのような厳しい環境の中で、弊社は売上高、利益とも前年を上回ることができました。これも株主の皆さまのご支援あればこそその成果と、深く感謝を申し上げます。医療・介護の分野では、変わらず厳しい環境下にあるとはいえ、10年ぶりに診療報酬のプラス改定が行われ、市場は落ち着きを取り戻した感があります。これを契機として、効果的な戦略を展開してまいりました。医療・介護市場においては、時代のトレンドを的確にとらえて、新商品を開発・提案いたしました。拡大基調にある検診市場では、さらに販促活動を強化。手術市場においては、順調な展開を見せる、使い捨てからリユースへの環境配慮型商品「コンペルパック」をさらに浸透させることができました。ナガイレーベンは医療と介護を通じて、人と社会に貢献できる企業をめざしております。株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

medical



時代の空気を取り入れた人気のナースウェア



「チーム医療」にアプローチする新企画「HOMARE」のネイビーシリーズ



2



新基軸のニューソング新シリーズ

health



元気を施設に。ひらひらリバティブプリントシリーズ



着実にファンを獲得している
斬新な介護ウェア、ケアクルー

クレージュ

医療の流れは、「チーム医療」へ。
ウェアの流れは、HOMAREへ。

医療技術の進歩には、目を見張るものがあります。いのちの課題に、つぎつぎと光が差し込まれています。その技術を切り開き、実際に執り行うのは、現場のドクター、ナース、その一人ひとりで。人のいのちは、人と人のつながりが支えているのです。このため、さまざまな医療スタッフがタッグを組んで、より高度な医療を実現する「チーム医療」が重視されるようになっていきます。ナガイレーベンはこのいち早く着目して、HOMAREチーム・ネイビーシリーズを提案。専門集団の誇りやアイデンティティを強固にするとして、市場に確固とした地位を築いています。No.1企業には、市場の流れをつかみ、製品化し、市場をけん引する使命がある。この考えそのままに実現した成果の一つです。

介護従事者に、誇りと自信。
クオリティが、市場のクオリティを高める。

高齢化社会の進展とともに、介護市場は拡大し続けてきました。しかし問題がないわけではありません。特に介護従事者の不足は深刻です。ナガイレーベンが、この問題に直接かかわることはできなくても、できることがあると考え、アプローチしています。介護の仕事への誇り、自信、意欲を高める。それが有能な人材を集める一歩となるはず。そのため、ナガイレーベンのヘルスケアウェアはたんに機能性を追求するだけではありません。何よりも、人を人として、いのちの尊厳、生きる喜びをテーマとします。今後の介護市場では、量的拡大より質的充実が求められます。ナガイレーベンがしなければならないこともより高度に、拡大していきます。

3

surgical

手術場を明るくするカラーオペウェア



4

future



人と環境、共生の技術。
手術衣に、新しい可能性が開いた。

息詰まるような時間、空気。極限まで緊張が張り詰める。人の英知を結集して進められる手術・検査・研究。そこで病原に挑む人とともに活躍する「コンベルパック」。いまではすっかり、リユース・システムのシンボル製品となっていました。この分野での最高品質、高精度な機能性、それが環境問題にも力を発揮。リユースによるエコロジー、リサイクルへの高い効果が、他の追随を許さない信頼を勝ち得ているのです。人と人、社会、そして自然。その共生の仕組みが、高く評価されたといえるでしょう。医療の先端技術を支える、さらにいまや社会的責務となっている環境問題にも衣料の先端技術で応える。新しい課題が、新しい技術を生む。新しい技術は、さらに解決できる課題を発見する。それがナガイレーベンの技術です。

闇もある、だから輝く。
次を信じて、いまを努力する。

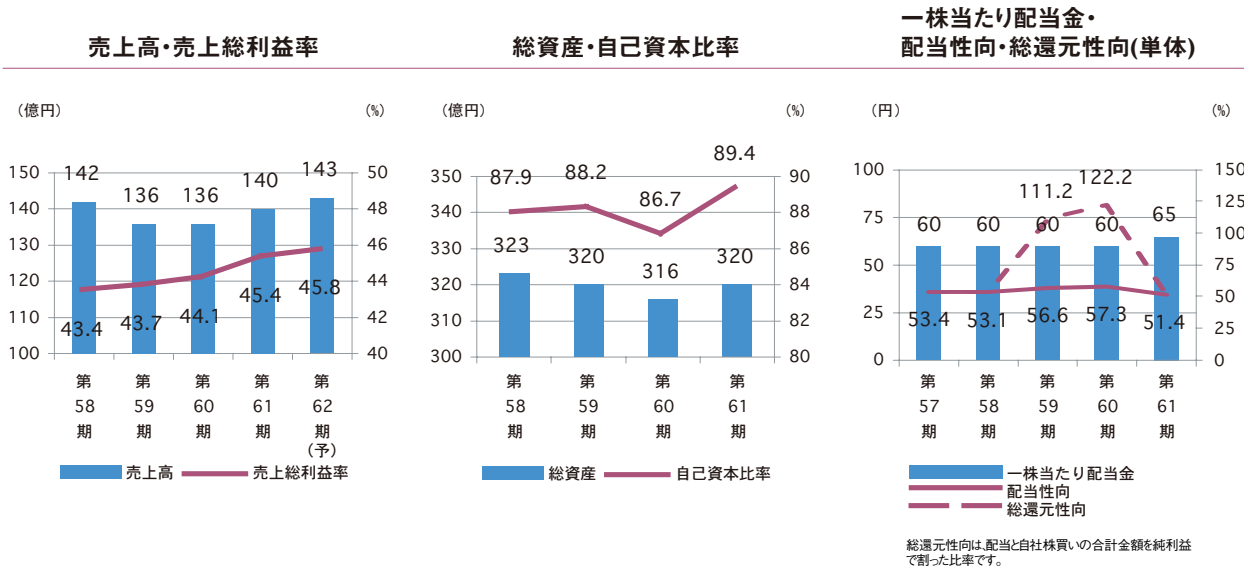
経済環境は、出口の光も見えない。人々の心は、閉塞感に満ちている。幸いにも好業績を上げたとはいえ、ナガイレーベンは決して安閑とはしていません。厳しい時代だからこそ、自らを奮い立たせるべきではないでしょうか。「闇もある、だから輝く」のです。ナガイレーベンがかかわるのは、人のいのち。いかに医療技術が進歩しても、完結することはありません。医療、介護を必要とする人がいる限り、人が辛さ、苦しみを知らなくなるまで、ナガイレーベンのしなければならないこと、明日への挑戦は続きます。

5

連結業績ハイライト
Business highlight

第61期決算の概要

- ・売上高は前年同期比3.0%増の140億円となりました。利益率の改善に努め、売上総利益率は45.4%となり、営業利益は前年同期比10.1%増の40億円となり、過去最高の利益を達成しました。当期純利益は前年同期比54.6%増の23億円となりました。
- ・総資産は前年同期比4億円増の320億円、自己資本比率は89.4%となりました。
- ・第61期の期末配当金は、ナガイレーベン株式会社設立60周年記念として、1株当たり60円の期末配当に、1株当たり5円の設立60周年記念配当を加え、合計65円の配当として、配当性向は51.4%（単体）となりました。



総還元性向は、配当と自社株買いの合計金額を純利益で割った比率です。

第61期の業績概要

当社グループ(当社及び連結子会社)は、主力のヘルスケアウェアが市場回復を背景に新商品群の強い引き合いにより順調に推移したのに加えて、手術ウェア、患者ウェアの周辺商品の売上が引き続き好調に拡大し、期初の売上計画を達成することができ、140億76百万円(前年同期比3.0%増)の売上高となりました。生産に関しましては、生産効率の回復及び円高メリットにより売上高原価率の低減を図ることができ、利益率の向上を行うことができました。その結果、40億5百万円(前年同期比10.1%増)の営業利益、23億44百万円(前年同期比54.6%増)の当期純利益となりました。

また、株主に対する利益還元として、第61期の期末配当金は、ナガイレーベン株式会社設立60周年記念として、1株当たり60円の期末配当に、1株当たり5円の設立60周年記念配当を加え、合計65円の配当を実施いたしました。

来期の見通し

売上高	143億円	前期比1.9%増
経常利益	41億円	前期比3.8%増
当期純利益	24億円	前期比3.8%増

来期の重要テーマ		
売上拡大に向けた営業戦略	原価低減に向けた生産戦略	環境との調和を考えた事業経営
・看護・介護等コア市場の深耕 ・患者・手術等周辺市場の拡大 ・新市場の開拓	・国内外の生産効率改善 ・海外新規素材の採用促進 ・新規海外生産拠点の開発	・廃棄物の再資源化の推進 ・環境配慮商品の開発

景気の先行きの不透明さは継続するものと見られ、また医療・介護業界におきましては、一応の落ち着きを取り戻しつつあるものの、新政権において具体的な社会保障制度の施策がまだ明確化されていないのに加え、その財源問題も解決されておらず、先行き不透明感が払拭されるまでには至っていない状況と考えられます。

当社グループの属するメディカルウェア業界においては、遅れていた更新需要は今期において一巡し、来期は安定期に入るものと予測されます。

当社グループとしては、主力ヘルスケアウェアにおいて新コンセプトの新商品群の拡充により市場を活性化させつつ、中部、西日本でのシェアアップを図るとともに、「コンベルパック」での更なる手術ウェアの拡販、拡大する患者ウェア市場への販促強化を積極的に推し進め、実質的な過去最高の売上高及び利益を目指してまいります。また、新市場開拓を大きな経営課題と捉え、マーケティング活動の強化と業容拡大に繋げるべく営業活動を本格化し、将来の磐石な体制作りに向けその礎を築くべく邁進いたします。

生産に関しましては、国内・海外における生産効率改善を推進するとともに、海外新規素材の採用促進及び新規海外生産拠点の開発を図ってまいります。

連結財務諸表の概要

Financial statement

貸借対照表

科 目	(単位:百万円)	
	前期末 平成21年8月31日	当期末 平成22年8月31日
(資産の部)		
流動資産	24,047	24,498
固定資産	7,601	7,591
資産合計	31,648	32,089
(負債の部)		
流動負債	3,689	2,841
固定負債	523	564
負債合計	4,212	3,406
(純資産の部)		
株主資本	27,474	28,778
評価・換算差額等	△38	△95
純資産合計	27,436	28,682
負債純資産合計	31,648	32,089
一株当たり純資産	1,582円06銭	1,653円94銭

株主資本等変動計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前期末 平成21年8月31日	当期末 平成22年8月31日
株主資本(期末残高)	27,474	28,778
評価・換算差額等(期末残高)	△38	△95
純資産合計(期末残高)	27,436	28,682

(平成22年8月31日現在)
(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てています。
この財務諸表は主要な項目を表示しています。

Point

現金及び預金の増加1,899百万円、有価証券の減少499百万円、棚卸資産の減少480百万円等により、総資産は前期比440百万円増加しました。

Point

前期末に計上されていた厚生年金基金脱退に伴う損失引当金1,044百万円の減少等により前期比805百万円の減少となりました。

Point

当期純利益2,344百万円となり、剰余金の配当1,040百万円の株主還元等を実施し、前期比1,303百万円の増加となりました。

損益計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前期末 平成21年8月31日	当期末 平成22年8月31日
売上高	13,669	14,076
売上原価	7,639	7,687
売上総利益	6,029	6,388
販売費及び一般管理費	2,391	2,383
営業利益	3,638	4,005
営業外収益	164	154
営業外費用	148	176
経常利益	3,653	3,983
特別利益	0	1
特別損失	1,072	11
税金等調整前当期純利益	2,581	3,973
法人税等	1,480	1,358
法人税等調整額	△414	271
当期純利益	1,516	2,344
一株当たり当期純利益	85円83銭	135円18銭

キャッシュ・フロー計算書

科 目	(単位:百万円)	
	前期末 平成21年8月31日	当期末 平成22年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,518	2,840
投資活動によるキャッシュ・フロー	△633	△1,492
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,302	△1,040
現金及び現金同等物の増減額	△423	300
現金及び現金同等物の期首残高	6,673	6,250
現金及び現金同等物の期末残高	6,250	6,550

Point

売上高の伸長及び、生産効率の回復・円高メリットの利益率の改善により、売上総利益が増加しました。

Point

前期末において、厚生年金基金脱退により特別掛金1,044百万円が発生しました。

Point

営業活動によるキャッシュ・フローは2,840百万円となりました。投資活動によるキャッシュ・フローでは主に、定期預金の預入、投資有価証券の取得がありました。財務活動によるキャッシュ・フローでは配当金の支払を行いました。これらの結果、現金及び現金同等物の期末残高は6,550百万円となりました。

Our feature

当社の特徴

医療白衣メーカー専門として 優位なポジションを確立

- 1**
- ・国内シェア60%超のリーディングカンパニー
 - ・企画から製造、販売までを一貫して行う
 - ・数千種類にも及ぶ豊富なアイテム数、オーダーメイド対応など競争力のある商品

強固な収益体質と財務基盤

- 3**
- ・売上総利益率 45.4%
 - ・海外生産シフトで、利益率のさらなる向上
 - ・自己資本比率 89.4%

※第61期での数値になります

安定伸長する市場環境

医師・歯科医師 ・薬剤師数*1	看護職員数*1	介護職員数 (常勤換算)*2
65万人 2006年比 +26,200人	140万人 2006年比 +64,300人	84万人 2006年比 +29,300人

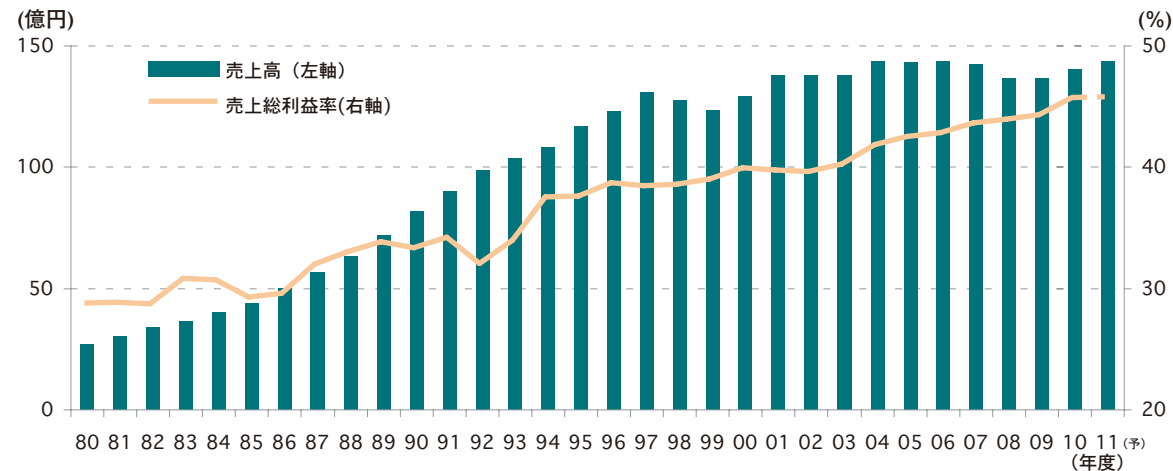
*1 厚生省 厚生労働白書(H22年度版):2008年現在

*2 厚生省 介護サービス施設・事業所調査結果(09.1):2008年現在

株主様を重視した株主還元策

- 4**
- ・安定配当、配当性向50%以上
 - ・自己株式の取得

業績の推移



株主様を重視したIR活動

当社では、「積極的なディスクロージャーによる透明性向上」「投資家との双方向コミュニケーション」「高配当による株主還元」など、より多くの投資家へ向けたIR活動を積極的に行い、株主の皆さまへの利益還元の充実を経営の重要課題のひとつと認識しております。

個人投資家向けIR説明会のご報告

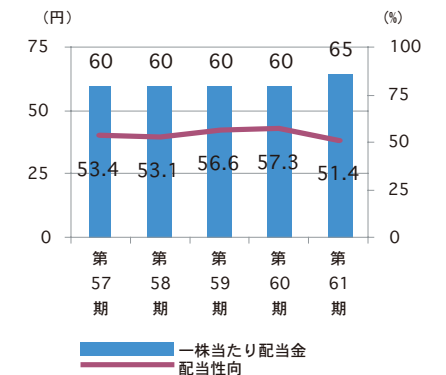
IRフォーラム2010大阪・IRフォーラム2010東京(主催:株式会社ツバルの森)のセミナーにて、約200名の個人投資家の皆さまにご来場いただき、当社・澤登社長より、事業概要、事業展開について説明させていただきました。また、5月31日放映の番組「E Morning」(テレビ東京系)に当社・澤登社長が出演させていただきました。

当社についての理解を深めていただくために、今後もさまざまな企画を実施してまいります。



高配当による株主還元

当社は、従来より株主の皆さまへの利益還元の充実を経営の重要課題のひとつとして位置づけており、通年ベースの配当性向を当社単体の当期純利益の50%以上とする方針にしております。また、第61期の期末配当金について、ナガイレーベン株式会社設立60周年記念として1株当たり60円の期末配当に、1株当たり5円の設立60周年記念配当を加え、合計65円の配当を実施いたしました。



会社概要
Corporate outline

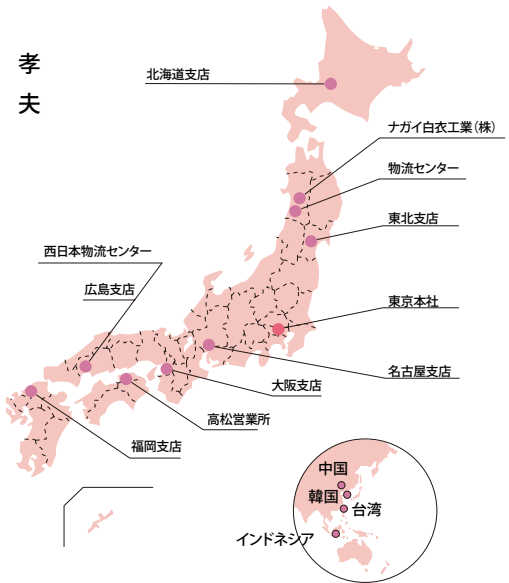
商号	ナガイレーベン株式会社		
本社	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1丁目2番19号		
設立	昭和25年7月20日		
資本金	1,925,273,475円		
社員数	109人(グループ従業員数488人)(平成22年8月31日現在)		
役員	代表取締役社長	澤 登 一 郎	
	常務取締役兼営業本部長	斉 藤 信 彦	
	取締役管理本部長	大 野 和 城	
	取締役業務本部長	朝 井 克 司 (新任)	
	取締役企画本部長	山 本 康 義 (新任)	
	常勤監査役	荻 野 和 孝 (新任)	
	監査役	永 井 光	
	監査役	興 石 國 安	

＊平成22年11月25日開催の定時株主総会終結の時をもって、
任期満了により次の取締役及び監査役が退任しております。

退任取締役及び監査役(旧役職)	
(取締役業務本部長)	荻 野 和 孝
(常勤監査役)	齊 藤 恒 夫

主な事業所	本社
	ナガイレーベン物流センター
	ナガイレーベン第2物流センター
	ナガイレーベン西日本物流センター
	北海道支店 東北支店
	名古屋支店 大阪支店
	広島支店 福岡支店
	高松営業所
	台北支店
関係会社	ナガイ白衣工業(株)

(平成22年11月25日現在)

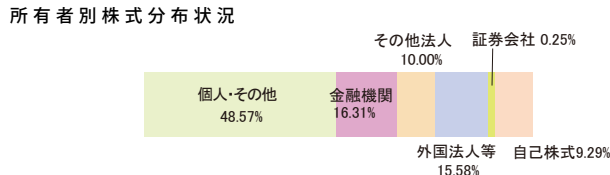


株式情報
Stock information

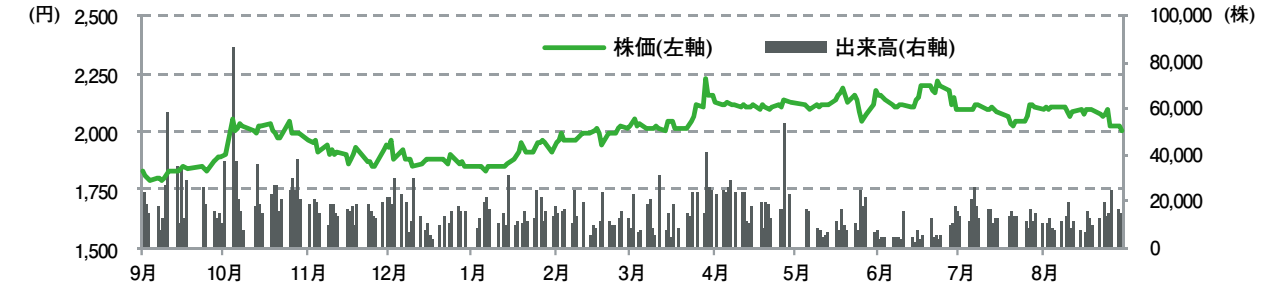
株 式 情 報

発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	17,342,087株 (自己株式1,775,913株を除く)
株主数	3,116名

大株主の状況		
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
澤登一郎	2,868,700	16.5
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY	1,183,567	6.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,082,400	6.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	755,800	4.4
丸山悦子	690,000	4.0
株式会社安立	534,000	3.1
澤登辰郎	527,600	3.0
有限会社登龍	444,800	2.6
露口 誠	400,000	2.3
RBC INVESTOR SERVICES TRUST,LONDON-CLIENTS ACCOUNT	352,100	2.0



株 価 の 推 移



株 主 メ モ

決算期	毎年8月31日
定時株主総会	毎事業年度末の翌日から3か月以内
基準日	毎年8月31日
公告掲載方法	電子公告とする。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 公告掲載URL http://www.nagaileben.co.jp/

単元株式数	100株
銘柄コード	7447
上場証券取引所	東京証券取引所
株主名簿管理人	日本証券代行株式会社 〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号

同事務取扱所	日本証券代行株式会社 本店 〒103-8202 東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
郵便物送付先・お問合せ先	日本証券代行株式会社 代理人部 〒103-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号 電話 0120-707-843(フリーダイヤル)

各種手続のお申出先

- ・未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- ・住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等

証券会社をご利用の株主様は、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主様は、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

いのちの力になりたい。



本社 〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-2-19 Tel.03-3863-0371 (代) Fax.03-3863-5891
営業本部第1課 Tel.03-3864-7891 (代) 営業本部第2・第3課 Tel.03-3864-7894 (代)
営業本部第4課 Tel.03-3861-1830 (代) 営業本部第1課・第2課・第3課・第4課 Fax.03-3864-7898
北海道支店 〒065-0017 札幌市東区北17条東3-2-19 Tel.011-741-1416 (代) Fax.011-741-1417
東北支店 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡5-8-11 Tel.022-256-1001 (代) Fax.022-256-1004
名古屋支店 〒464-0832 名古屋市千種区山添町2-90-1 Tel.052-757-2891 (代) Fax.052-757-2893
大阪支店 〒537-0024 大阪市東成区東小橋1-17-26 Tel.06-6977-2221 (代) Fax.06-6977-3700
広島支店 〒733-0003 広島市西区三篠町2-17-16広本ビル1F Tel.082-509-3001 (代) Fax.082-509-3003
福岡支店 〒810-0011 福岡市中央区高砂2-11-11 Tel.092-526-7778 (代) Fax.092-526-7779
高松営業所 〒761-0113 高松市屋島西町1897-17 Tel.087-843-2328 (代) Fax.087-843-2329
台北支店 台北市中山區復興北路178號8F之4 Tel.02-2545-5885 (代) Fax.02-2545-6149
ナガイレーベンホームページ <http://www.nagaileben.co.jp>



JQA-QMA11091
本社・国内事業所
JQA-E144600
本社



このマークは株式会社ツバリの森が提供する太陽光発電によるグリーン電力証書の利用を証するものです。

当社は、第61期事業報告の制作(印刷)時に消費する電力相当をグリーン電力証書を利用することで、環境に配慮した電子制作を行うとともに、日本における自然エネルギーの普及促進に貢献しています。